



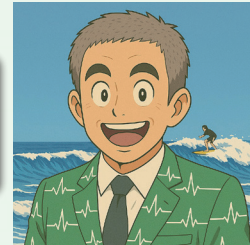
心電図マスターアプリ

User Case 01



連続トライアル50問正解達成者

心電図マスターアプリで日々トレーニングを重ねた結果、実力テストである「連続トライアル」で 50問連続正解 を達成し、「心電図マスター証明書」を取得された A さん（救急救命士）にお話を聞きました。



自己紹介

私は消防機関で救急救命士として救急活動に従事しています。救急隊として活動する中で、不整脈や急性冠症候群が疑われる傷病者に対しては、モニター心電図で状態をしっかりと見守るよう心がけています。

学習面では、正常波形と異常波形の違いを正しく理解し、日々の活動で活かせるよう努めています。

モニター心電図学習の動機

異常波形や致死性不整脈を正しく判読できなければ、傷病者を適切な医療機関へ搬送することができません。そのため判読能力を磨く必要があると考えました。

心電図マスターアプリとの出会い

月刊誌『近代消防』に掲載された心電図マスターアプリの紹介記事で知りました。

アプリによる学習体験

アプリを使って良かった点は、ちょっとした隙間時間にも波形の判読に取り組めることです。正解率が上がるたびにモチベーションが高まり、学習を継続する力になりました。

また、連続トライアルで正解を積み重ねていく感覚を実感できたことで、「ぜひ50問連続正解を達成したい」という思いが強くなりました。

ユーザー講習会を受講

自分の知識とユーザー講習会で学んだ内容を照らし合わせることで、理解を再確認することができました。さらに、知識の再確認と波形の判読を繰り返したことで、異常波形の判読に自信ができました。特に悪かった点はありませんが、QRS波形にはさまざまな形があり、誘導を変えるだけでも形が変化するため、QRS波形に関する講義があってもよかったのではと感じました。

実務への学習効果とこれからの目標

基本調律を学んだことで、波形に惑わされることなく、落ち着いて判読できるようになりました。

モニター心電図の学習で身につけた知識を、波形判読が苦手な職員にも分かりやすく伝えていきたいと考えています。

心電図マスターアプリの感想

これから学習を始める方には、まず正常波形と異常波形の定義を理解し、その上で心電図マスターアプリを使って基本調律を学んでいただきたいです。そうすれば理解が深まり、波形に惑わされずに判読できるようになるはずです。

また、隙間時間に学習できることは大きなメリットです。このアプリの良さを、今後も多くの救急隊員に伝えていきたいと思います。

本日はありがとうございました。

< 戻る

学習記録

基本調律	部外収録	連続トライアル		
連続トライアルモード		初回クリア日	最新クリア日	クリア回数
連続トライアル 10問チャレンジ		2025年8月5日	2025年8月19日	4回
連続トライアル 30問チャレンジ		2025年8月10日	2025年8月10日	1回
連続トライアル 50問チャレンジ		2025年8月20日	2025年9月16日	3回

連続トライアル 50問チャレンジをクリアすると証明書が発行できます！

50問クリア証明書

A さん、連続トライアル50問達成、「心電図マスター」おめでとうございます。次は、「読める」を「現場判断に活かす」ステージですね。モニター心電図をマスターしたことで、救急現場における「臨床推論」の正確性がさらに高まると思います。さらなるご活躍を期待いたします。

(大河原治平)